

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

令和2年度技術情報第8号（イネ科牧草等でのツマジロクサヨトウ）について
（送付）

奄美地域でイネ科牧草（アフリカヒゲシバ：以下ローズグラスと記載）及びサトウキビでツマジロクサヨトウによる被害を確認しました。今後の発生に注意し適切な防除を行ってください。

令和2年度技術情報第8号

1 農作物名 イネ科牧草（ローズグラス）、サトウキビ

2 病害虫名 ツマジロクサヨトウ

3 発生状況

- （1）令和2年6月12日、与論町において新植ほ場生育初期のローズグラス4ほ場で、ツマジロクサヨトウの幼虫（図1）によって激しく食害されてるほ場が確認された。生産者によると数日のうちに被害が拡大したとのこと。
- （2）また、当該ほ場に隣接してるサトウキビほ場においても、ツマジロクサヨトウ幼虫（老齢幼虫）による展葉前新葉の食害を認めた（被害株率約10%）。
- （3）令和2年6月19日、龍郷町においても新植ほ場生育初期のローズグラスで、ツマジロクサヨトウの幼虫から激しく食害されたほ場が確認された（図2、図3）。
なお、当該ほ場以外では被害は認められていない。

4 防除対策

- （1）幼虫は生育初期から中期までの植物に寄生することが多いので、生育初期からほ場をよく見回り、幼虫の早期発見に努める。
- （2）発生を確認した場合は直ちに農薬による防除を実施する。
なお、サトウキビでは、新葉の葉しょう基部に潜り込んでいる幼虫に届くよう、株の上部までしっかりと散布する。
- （3）ローズグラスで農薬による防除が困難な場合は、被害の拡大や分散を防ぐため、速やかにすき込む。
- （4）本虫は土壌中で蛹として残存するため、複数回の耕耘を行い、残存虫を駆除する。
- （5）ツマジロクサヨトウの発生や防除に関する情報が農水省ホームページに掲載されてる。
(https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k_kokunai/tumajiro.html)



5 防除上注意すべき事項

- (1) 発生ほ場においては、ツマジロクサヨトウの防除に使用できる農薬を用いる。
- (2) 農薬散布にあたっては、無風又は風が弱い時に行うなど近隣に影響が少ない天候や時間帯を選び、風向、防除器具のノズルの向き等にも十分注意するとともに、隣接農作物の栽培者に対して散布予定農薬の種類や散布時期等を事前に連絡するなど、農薬の飛散（ドリフト）に留意する。
- (3) 老齢幼虫では農薬の効果が低下するので、幼虫を確認したら直ちに防除する。

6 参考データ



図1 ツマジロクサヨトウ幼虫
(老齢，体長最大4 cm前後)



図2 ローズグラスほ場内のツマジロクサヨトウ幼虫（龍郷町）



図3 ローズグラスほ場でのツマジロクサヨトウによる被害（龍郷町）